

## 「シオン会だより」の創刊によせて

茨城キリスト教大学短期大学部同窓会シオン会  
会 長 根 本 龍 哉

本短大は戦後日本最初の短期大学として1950年4月に開学した。以来56年間高等教育機関として18000名の卒業生を世に送り各分野で貢献しその実績は高く評価されてきた。1999年から学園は少子高齢化、人口減少とデフレ社会に対応する為に構造改革に取り組み、中高一貫教育の実施、短期大学4学科と大学文学部との統合を推し進めていった。2000年4月には大学の組織に短大を加え、短大の定員を振り替えて生活科学部を立ち上げ1院2学部1短大部に組織変更した。

その後さらに2004年4月に短大部の定員を振り替えて看護学部を設置し、大学を1院3学部とし、完全に大学に移行させていった。この施策はこれまで学園の中心的な役割を果たしてきた短大を大学と統合することによって学園を更に発展させるためのものであります。

その結果2006年6月をもって短大部は学生定員と教職員と資産の全てを大学に移し発展的解消したわけであります。このような時代に対応した大転換を行っても、先行きは厳しく今後更に学園の教育改革を進めないで現状を維持できなくなっている社会状況にあります。

これからの大学短大部同窓会は学園と大学短大部18000名の卒業生が存在する限り、学園の支援も受けて同窓会活動をしていく事になります。縮小社会に進行している新時代の中では、同じキャンパスで青春の一時を過ごしたという経験を持つ同窓生が相互の親睦を深めさらに絆を強くし心の支えにしていくことが必要であります。本会はそれを実現する為に有効な活動を展開させていかねばならないと思っています。

また、今後学園が発展していく為には学園と同窓会と父母が三位一体となり連携していくことが必要でしょう。そのためにはまず、学園内各同窓会が連携して連合体を作る必要があります。この同窓会連合会の活動拠点として2007年度には学園記念館を復元させ同窓会連合の事務局を置き、学園の発展と同窓会活動の充実を図って行きたいと思っております。当然短大部卒業生も含めた学園内同窓生なら誰でも自由に訪れて集う事の出来る場所にしたいと考えています。これまでは母校と同窓会の絆を強く結ぶ為にシオンニュースを69回発刊しましたが、今後は同窓会新聞「シオン会だより」を独自に発行し、これまでと同様に同窓生の相互交流及び学園と同窓生の絆を結ぶ記事を自力で作成する事になります。毎年1回お手元にお送りしますので、ご愛読下さるようお願い致します。

また、2009年4月に60周年になりますので、第56回の最終卒業生を含め18000名を載せた卒業生名簿を2010年3月に発行する予定であります。国外在住旧教職員も含めた名簿の完成版になりますので、名簿作成の調査にはご協力下さるようお願い致します。

最後にこれからも本会役員一同は21世紀という新時代の流れに負けないよう懸命に活動していく所存でありますので、

今後とも同窓生の皆様の変わらぬご協力とご支援をお願い申し上げます。

2006年11月20日

## 2006年度 年度幹事総会報告

2006年11月23日、宗教センター並びに学生会館に於いて、顧問の滝田学部長と60数名の役員・年度幹事・一般卒業生が出席し、同窓会シオン会の年度幹事総会が開催された。

会の始めに根本会長より、「06年5月母校が発展的解消になった。卒業生にとって本会の存在は益々重要なものとなり、更に大切にしていかなければならない。今後の重要課題は、同窓会新聞シオン会だよりの発刊、同窓会館としての学園記念館復元募金の取組み、創立後60年を期して全卒業生18000余掲載の会員名簿制作の取組みである」という挨拶があった。

その後、根本会長を議長に選出。議案(1)05年度の事業報告、決算報告が共に拍手で承認された。(2)06年度予算については、収入が入会金から年度会費に変わり、学園援助金、園遊会基金、バザー収益金により前年度以上の予算額を確保することができた。支出は園遊会、各年度同窓会と支部活動援助金、年度幹事総会や役員会の充実等が盛り込まれているとの説明があり、予算案並びに事業計画案が承認された。

(3)学園記念館復元募金活動および復元案が説明後承認され、(4)シオン会だよりの創刊号編集・発行案について霜峯委員長より説明があり承認された。(5)同窓会員名簿完成版発行計画(6)年度幹事の一部改選、続いて(7)本規約一部改正案が審議され、満場一致で承認された。その後各支部活動報告が各支部長より行われた。また、総会終了後、当日講演された吉田敬造先生や第2・3回卒業の皆さんも多数参加され懇親会が行われた。50年ぶりに母校を訪れた方も居り、学園の変容に驚きながらもはなしが弾み、和やかな雰囲気の中散会した。

なお、05年度の活動報告並びに05年度決算・06年度予算書は本会の原点となるものなので下記に掲載しお知らせする。

また、多くの方より年度会費を納入して頂き誠に有難く、衷心よりお礼申し上げます。  
(同窓会事務局長 横須賀敏雄)

## 2005年度 事業報告書

自2005年10月1日：至2006年9月30日

期 日	会 場	内 容
2005年 10月30日 (日)	大学シオン館 大会議室	第1回定例役員会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第57回学園祭に2回目の参加（バザー模擬店出店）について</li> <li>・ 幹事総会提出議題案の審議</li> <li>・ 役員および年度幹事改選について</li> <li>・ 学園記念館復元募金活動について</li> <li>・ 第69号シオンニュース（最終）と第1号シオン会だよりの発行について</li> <li>・ 各支部報告について</li> <li>・ 研修会の実施について</li> </ul>
11月3日 (木)	大学シオン館 学生玄関前	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第57回学園祭シオンフェスティバル／2回目の参加</li> <li>・ バザー『雑貨、ケーキ、パン』と模擬店『うどん店』</li> <li>・ 11月1日準備の日</li> </ul>
11月23日 (水)	シオン館 310番教室	定期年度幹事総会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2004年度事業および収支決算報告並びに監査報告</li> <li>・ 2005年度事業計画（案）および予算（案）審議</li> <li>・ 任期満了による役員改選</li> <li>・ 学園記念館寄付募集について</li> </ul> 研修会 「吉田 正記念館から」—文化力は地域力だ— <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 講師 日上市役所生活環境部参事 中山俊恵氏</li> </ul> 懇親会
12月20日 (土)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ シオンニュース第69号 同窓会だより発行</li> </ul>
2006年 2月12日 (日)	学生会館	第2回定例役員会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 21世紀型同窓会活動の構築と組織の強化</li> <li>・ 学園記念館募金活動の推進</li> <li>・ 第24回園遊会準備委員会の結成について</li> </ul>
3月19日 (日)	学生会館	第3回定例役員会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第24回園遊会企画立案その宣伝活動の強化</li> </ul>
4月29日 (土)	キアラ館 学生会館	第24回園遊会（約170名の参加） 特別案内1,2,5,6,16,17,30,40,41,47,55回卒業生 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 礼拝、音楽会等</li> <li>・ 懇親パーティー</li> <li>・ 抽選会 等</li> </ul>
6月4日 (日)	学生会館	臨時役員会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 同窓会活動の現状分析と課題取り組みの検討</li> <li>・ 同窓会新聞編集委員会の開催、その他専門委員会報告</li> </ul>
8月25日 (金)	水戸GC	第11回会長杯ゴルフコンペ 17人参加（含む女子7名、優勝8回卒小沼諄一氏）
9月24日 (日)	学生会館	第4回定例役員会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 名簿管理委員会の開催                （60周年記念名簿完成版発行計画2010年3月）</li> <li>・ 幹事総会日程について</li> <li>・ 総会研修の部講師選定について</li> <li>・ 第58回学園祭参加について</li> </ul>

## 2006年度 事業計画

自2006年10月1日：至2007年9月30日

期 日	会 場	内 容
2006年 10月29日 (日)	学生会館	第1回定例役員会 ・ 第58回学園祭3回目の参加（バザー模擬店出店）について ・ 幹事総会提出議題案の審議 ・ 学園記念館復元募金活動について ・ 創刊号シオン会だよりの発行について ・ 学園記念館建築検討委員会設置の理事会に対する要望について ・ 各支部報告について ・ 研修会の実施について
11月3日 (金)	大学シオン館 学生玄関前	・ 第58回学園祭シオンフェスティバル／3回目の参加 ・ バザー『雑貨、ケーキ、パン』と模擬店『うどん店』 ・ 11月2日準備の日
11月23日 (木)	キアラ館 学生会館	定期年度幹事総会 ・ 2005年度事業および収支決算報告並びに監査報告 ・ 2006年度事業計画（案）および予算（案）審議 ・ 学園記念館復元募金活動について ・ シオン会だより創刊号の発行について ・ 各支部活動報告 研修会 「日本の神々」 講師 吉田敬造氏（本学第2回卒業生） 懇親会
12月25日 (月)		・ 同窓会新聞「シオン会だより」創刊号発行
2007年 2月4日 (日)	学生会館	第2回定例役員会 ・ 同窓会活動組織の強化について ・ 学園記念館募金活動の推進について（最終締切6月30日） ・ 第25回園遊会準備委員会の結成について
3月18日 (日)	学生会館	第3回定例役員会 ・ 第25回園遊会企画立案その宣伝活動の強化
4月29日 (日)	キアラ館 学生会館	第25回園遊会 特別案内 1,2,7,8,18,19,31,42,48,54 回卒業生 ・ 礼拝・音楽会・懇親パーティー・抽選会 等
6月3日 (日)	学生会館	臨時役員会 ・ 同窓会活動の現状分析と課題取り組みの検討 ・ 同窓会新聞編集委員会の開催 ・ 学園記念館建築検討委員会による間取りの検討 ・ その他専門委員会報告
8月23日 (木)	那珂市（予定）	第12回会長杯ゴルフコンペ
9月30日 (日)	学生会館	第4回定例役員会 ・ 幹事総会日程について ・ 役員および年度幹事改選について ・ 総会研修の部講師選定について ・ 第59回学園祭参加について ・ シオン会だより第2号の発行について ・ 同窓会名簿管理委員会完成版発行について

## 2005年度決算書および2006年度 収支予算書

自2006年10月1日  
至2007年9月30日

収入の部

単位:円

科 目	2006年度予算額	2005年度決算額	比較増減(△減)	摘 要
会 費	1,357,493	629,730	727,763	2,714,985円÷2
繰 越 金	166,282	59,424	106,858	2005年度より
学園援助金	650,000	650,000	0	学園より運営助成金
園遊会基金	600,000	600,000	0	父母の会賛助会費委譲金より
寄 付 金	1000	50,690	△ 49,690	
雑 収 入	183,000	193,740	△ 10,740	預金利子,バザー-収益金他
合 計	2,957,775	2,183,584	774,191	

支出の部

単位:円

科 目	2006年度予算額	2005年度決算額	比較増減(△減)	摘 要
事 業 費	720,000	657,497	62,503	
園遊会費	650,000	650,000	0	運営費他 恩師交通費等
親睦会費	20,000	2,247	17,753	交流会等助成
研修費	50,000	5,250	44,750	講師謝礼
活動助成費	330,000	310,000	20,000	
クラス会費	30,000	10,000	20,000	5,000円×6クラス会
支部活動費	300,000	300,000	0	100,000円×3支部活動費
会 議 費	345,000	300,463	44,537	
幹事会費	125,000	119,230	5,770	資料および通信費等
役員会費	190,000	181,233	8,767	5回実施予定
委員会費	30,000	0	30,000	新聞編集、記念館募金、記念名簿作成
事 務 費	918,000	616,242	301,758	
事務運営費	160,000	151,200	8,800	事務局員執務手当交通費等
消耗品費	72,000	71,305	695	事務用品等
印刷通信費	150,000	148,225	1,775	はがき・切手等・印刷費等
名簿管理費	236,000	171,512	64,488	名簿管理メンテナンス
備品費	300,000	74,000	226,000	パソコン、複写機
旅 費	20,000	13,000	7,000	
慶 弔 費	10,000	10,000	0	
母校協力金	20,000	20,000	0	
事業引当金	400,000	86,100	313,900	積立金
予 備 費	194,775	4,000	190,775	
繰 越 金	0	166,282	△ 166,282	
合 計	2,957,775	2,183,584	774,191	

上記のとおり提案いたします。

2006年10月29日

茨城キリスト教大学短期大学部同窓会  
シオン会 会 長 根 本 龍 哉

別途会計

大学短大部同窓会新聞発行費

2,200,000円

内訳 広報印刷費 660,000

広報通信費 1,320,000

封筒等消耗費 220,000

2006年11月23日

茨城キリスト教大学短期大学部同窓会シオン会会員の皆様

茨城キリスト教学園記念館復元実行委員長

理事長 廣瀬 正

本学短期大学部同窓会シオン会 会長 根本龍哉

学園記念館復元募金委員会 委員長 鍋田 雄二

### 茨城キリスト教学園記念館復元の募金趣意書

拝啓 初冬の候、茨城キリスト教大学短期大学部同窓会シオン会の会員の皆様には、益々  
ご清祥のこととお慶び申し上げます。

本会の運営につきましては、平素より絶大なるご協力を賜り、衷心より御礼申し上げます。

さて、2002年度に茨城キリスト教学園理事会・評議員会において学園の教育遺産である木造校舎の記念館（創立当時に建てられた建築物）を解体し、後日、学園ランドデザインに基づき計画的に復元するとの決定がなされました。

この学園の決定は、学園で学んだ卒業生の願望というだけではなく、学園の歴史的教育資産を保存するという観点からも非常に貴重なものであります。

学園内の大学・短期大学・高校・中学校の同窓会としても、創立当初からの思い出の深い木造校舎やカマボコ食堂などが学園教育施設の拡充と共に取り壊されてコンクリート造りの校舎に建替えられ、学園の歴史を刻む懐かしき校舎がなくなってしまう事に寂しさを感じておりましたし、これまでの教育資産の保存という点からもこの記念館を是非とも復元させて欲しいと考えております。

学園のルーツであるこの記念館は1949（昭和24）年に、学園本部と短期大学の本館として建設され、その後高校・短大共用の時代を経て高校の校舎となり最後には中学校が使用し、その後記念館として保存されてきたものであります。しかし、この建物も2003（平成15）年度に中高一貫教育の専用校舎を建築する為に解体されました。その際に学園はそれを復元する時に使用する為に、記念館の貴重な資材を一部分保存しています。

学園内各同窓会は平成19年度に復元するという学園理事会の決定どおり実現させるように、卒業生の賛同を得て、復元建設資金の募金活動を行う事に決定いたしました。この決定に基づき、本会シオン会は役員会の下に鍋田副会長を委員長とする募金委員会を結成致しました。

この記念館が復元された後には、学園同窓会連合（仮称）を結成し、学園内の同窓生ならば誰でも何時でも使用する事のできる同窓会館の機能を有するものにして欲しいと考えています。そして今後は学園の発展と共に、同窓会の発展に大きく貢献する建物にしたいと思っております。

また、理事会ではこの新記念館は第一に学園資料展示室、第二に国際交流や同窓会の

サロン兼会議室、さらに事務局機能を持たせること、第三には各同窓会と学園の情報と交流の接点にしたいとしています。建築規模は2階建、100坪で旧記念館の半分となります。

建築費は6,000万円ですが設備を含めると7,000万円になるといわれています。この建築財源を学園が5,000万円を拠出し、残り2,000万円を中学校、高校、短大、大学、大学院の同窓会から寄付金を充当し、建築することになりました。

本会は役員会及び本会学園記念館復元募金委員会を開催し、下記の募集要項を決定し、募金活動を行なうことにいたしました。何卒ご協力の程お願い申し上げます。

なお、現在の本募金達成額は2006. 12. 1付で3,551,000円となっております。本当にご協力ありがとうございました。感謝申し上げます。

#### 記

### [募集要項]

I. 学園内同窓会の募金目標額2,000万円、その内短期大学部同窓会募金目標額400万円

II. 短大同窓会の募集期間 2005 (H17) 年11月から2007 (H19) 年2月まで

### III. 募 金 金 額

1回から3回卒業までの方	原則として1口5千円で6口以上 合計3万円以上をお願いします。無理ならば1口でも2口でも結構です。
4回から15回卒業までの方	原則として1口5千円で4口以上 合計2万円以上をお願いします。無理ならば1口でも2口でも結構です。
16回から20回卒業までの方	原則として1口5千円で2口以上 合計1万円以上をお願いしますが、無理ならば1口でも結構です。
21回から55回卒業までの方	原則として1口2千円で1口以上 合計2千円以上をお願いしますが、無理にならないようお願いします。

負担にならない金額で、多くの方からご寄付頂ければと考えております。

### IV. 納入方法

日本郵政公社または本学園指定の銀行に振込みをお願いします。

①郵便振替口座番号 00110-9-686285

郵便振替口座名称 茨城キリスト教短期大学部同窓会シオン会

加入者払込・払出局 大甕駅前郵便局

指定の郵便振込用紙を同封しています。

②銀行名 常陽銀行大みか支店

口座名 茨城キリスト教学園(短大記念館口) No. 1246233。

なお、払込手数料は払い込み人の負担でお願いします。

以 上

2006年12月1日

茨城キリスト教大学短期大学部同窓会シオン会会員 各位

大学短期大学部同窓会シオン会  
会 長 根 本 龍 哉

本会の2004から2006年度年度会費納入のお願い(再〃告)

拝 啓 厳寒の砌、同窓生の皆様におかれましては、ご健勝にて各方面でご活躍の事と拝察いたします。

さて、2004年度幹事総会において、2004年度から年度会費1,000円を纏めて3年分3,000円(2004年～2006年度)納入していただくことになりました。

未だ収めて戴いていない方に2005年12月1日付文書をもってお願い申し上げました処、2006年12月1日付現在で約485名の方が納入されました。通算では1,133名となります。卒業時の入会費納入がなくなり年度会費だけで本会の運営をする事になりますので、これのご協力は本当に有難いものであります。

この会費の用途につきましては、各年度の決算と年度活動報告を毎年度のシオンニュース(シオン会だより)並びに同窓会ホームページに掲載してご報告致します。また年度会費納入状況及び納入者一覧については、定期的にホームページにて掲載致します。

本会は今後も同窓会企画及び行事が皆様の心の拠り所となるように充実させて行きたいと思っております。これまで以上のご支援ご参加をお願いする次第です。

なお、別紙の郵便振替払込取扱票は、シオン会だよりに同封する為に、既に会費納入済みで対象外となる方にまで配布されてしまうことがあるかもしれませんが、納入済みの方には本当にご迷惑をお掛けいたし誠に恐縮に存じますが何卒お許し頂きたくお願い申し上げます。 敬 具

記

納入期限 2007年1月～6月30日までとします。

(ただし、本会の2006年度は2006年10月1日から2007年9月末日迄となりますが、会計整理上、納入期限を設けましたので、ご協力お願いします。)

払 込 局 大甕駅前郵便局

口座番号 00180-7-630051

口座名称 茨城キリスト教大学短期大学部シオン会

指定の郵便振替払込取扱票には、なるべく卒業年度・回数、学科名もご記入の程お願い致します。

連 絡 先

茨城キリスト教大学短期大学部同窓会シオン会 事務局

TEL 0294-52-8899

FAX 0294-52-8899

ホームページ <http://www.icc.ac.jp/> (茨城キリスト教学園)